

☆脳卒中市民公開講座「教えて！！脳卒中ってどんな病気？」を開催しました

9月15日(土曜日)、南多摩保健所(南多摩保健医療圏脳卒中医療連携協議会主催)は、稲城市地域振興プラザにおいて、圏域5市(日野市、多摩市、稲城市、八王子市、町田市)の市民を対象として脳卒中市民公開講座「教えて！！脳卒中ってどんな病気? ~こんなサインは要注意~」を開催しました。本講座の稲城市内での開催は初めてで、当日は雨にも関わらず、稲城市民を中心として70名を超える方々の参加がありました。

第1部は東海大学医学部附属八王子病院神経内科医長の徳岡健太郎先生を座長として、稲城市立病院神経内科部長の岩下達雄先生から脳卒中の発症サインや予防・最新治療についてわかりやすくお話しいただきました。その後、稲城市医師会の中村敏弘先生から稲城市で実践されている脳卒中の在宅医療の現状を、八南歯科医師会の西田安司先生から歯周病と脳卒中との関連やかかりつけ歯科医の大切さに関し、御講義いただきました。



第2部は、東海大学医学部附属八王子病院神経内科教授の野川茂先生を司会として、第1部の座長と講師3名がパネルディスカッションを行うとともに、市民の方からの御質問に答えていただきました。休憩時間や講座終了後にも来場者の方が講師へ個別に相談する様子が見られ、短い時間でしたが、脳卒中という病気について市民の方々に理解を深めていただく機会となりました。今後も当保健所では、脳卒中の予防や発症後の速やかな受診の普及啓発に努め、医療連携を推進していきます。